

## 学長室から

竹屋 元裕

## 自己点検・評価報告書の作成にあたって

本学では、毎年、この時期に自己点検・評価報告書を作成していますが、今年も9月の理事会提出に向けて、ほぼ原稿が仕上がってきました。今回の令和4年度評価報告書は令和3年5月2日～令和4年5月1日を対象としたもので、内容は日本高等教育評価機構の基準に則り、基準1～6及び独自基準（基準A）の各項目に分けられます。

去る7月中旬に東京・市ヶ谷の私学会館で開かれた評価充実協議会でも強調されましたが、第3期の認証評価(2018～2024)で重視されるのが「基準6：内部質保証」です。中長期計画を見据えて、大学運営の改善・向上のために内部質保証の仕組みが十分に機能しているかが問われます。認証評価は7年以内毎の受審が義務づけられており、本学は既に令和2(2020)年度に受審を済ませていますので、次回受審予定の令和9(2027)年度は第4期になりますが、

内部質保証重視の方向性は変わらないと思います。加えて、現在検討が進められている新しい大学設置基準や改正私立学校法への対応が問われることとなります。これらに向けて内部質保証体制の整備を着実に進める必要があります。

また、今年度は独自基準（基準A）に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応」を選びました。これについては「危機対策本部」や「感染対策WG」の設置、遠隔授業の導入とmanabaをはじめとする環境整備、遠隔授業へ対応するための学生支援などを行ってきましたが、保健医療系大学の強みを活かした独自のPCR検査体制の構築や、学内人材によるワクチンの職域接種の実施などが特筆されます。現今の第7波襲来に対しても、本学の強みを活かしつつ、対策を強化して、学生教職員一丸となって感染防止に取り組んでいきたいと思っています。

## 高校生19人 気分は看護学生 熊本県看護協会「1日体験」

熊本県看護協会が主催する「1日看護学生体験」が7月26日（火）に開催され、「バイタルサインって何だろう？」というテーマで講義・演習を実施した本学会場には、熊本県内8つの高校から計19名の高校生が訪れました。

参加者は「バイタルサイン」とは何か、またそれらを測定する意義に関する講義を受け、実際に測定を体験しました。脈拍測定では、他人の脈拍を測定することは初めてで、ストップウォッチとにらめっこしながら必死に回数をカウントしていた様子が印象的でした。血圧測定でも、自分の血圧を測ったことがない高校生がほとんどで、アネロイド型血圧計や聴診器に興味津々の様子でした。

また、共聴用の聴診器で自分の拍動を聴取しながら、収縮期・拡張期を読み取っている

姿はまさに“看護学生”のよう。アンケートには「実際に測定することができて良かった」、「看護職を目指すモチベーションになった」などの感想が記述されていました。（看護学科・吉野拓未）



血圧測定を体験する高校生たち

# 学生3団体リーダーが座談会

## 活動の苦勞、やりがい語り合う

学内で活動する学生3団体の代表による座談会が7月20日（水）、キャンパステラスで、学園誌「ぎんきょう」46号の特集取材として行われました。

学友会会長の松山直央さん（リハビリテーション学科理学療法学専攻3年）、ピア・サポーターを代表して古木ほたるさん（同3年）、アカデミックスキル支援センターを代表して上級学生指導員の中山慶亮さん（医学検査学科3年）が出席、同センター外部指導員の坂田圭士郎さん（本学大学院2年）が司会を務めました。

それぞれの団体の活動を紹介した後、話はリーダーとしての苦勞ややりがいなどに及び、

3人ともリラックスした様子で話していました。「ぎんきょう」46号は8月末発行予定です。ご期待ください。（安部悠介）



活動する上での苦勞などを語り合う、左から中山さん、松山さん、古木さん



リハビリテーション学科  
生活機能療法学専攻  
宮田 浩紀 講師



## 俺も主夫。

私はタイトルにあるように主夫になって3年目を迎えます。北九州からの単身赴任で、どうにか生活をしてきた1年目に、進路に迷っていた長男からの「某〇●高校でサッカーがしたい」というまさかの相談。中学時代に大きな結果を出していない彼が出した決意や思いに「ノー！」とは言えず、想像もしていない男2人での生活が始まりました。

朝ごはん、昼の弁当、夕飯の3食はほとんどを自炊することに。メニューを考えることがここまで大変だとは思っていませんでした。さらに朝練が6時前に始まるため、5時に起床する生活ももれなくついてきました。「早く起きて」、「もう時間よ、急いで」などが口癖に。どんどんお母さんのようなことばかり言っている自分に気づきます（笑）。そして、何よりもサッカーソックスの臭いが…。

サッカーで活躍されていた大久保嘉人さんの『俺は主夫。職業：現役Jリーガー』の本を読んでとても共感できる部分がたくさんありました。お父さんも少しはお手伝いしたほうがよいのかもしれませんが。

## 銀杏アラカルト

◆臨地実習適格認定書を授与 助産別科の臨地実習適格認定書授与式が7月28日（木）、3102講義室Sで行われ、学生20人が適格認定書を手に入れました。原田なをみ助産別科長が名前を呼ぶ中、竹屋学長が一人一人に認定書を手渡し、式辞。河瀬晴夫事務局長、平川文丈就職・実習支援課長が祝辞を述べました。その後、全員で集合写真を撮影。学生たちは、お礼の気持ちを込め、竹屋学長ら3人にラベンダーの香りを加えた手作りの除菌スプレーを手渡しました。（安部悠介）



週間行事予定（8月6日～8月26日）

8 / 6 (土)	からだのふしぎ探検 in 熊本保健科学大学
8 / 21 (日)	オープンキャンパス

■卒業生の中村さんがラジオ出演 本学リハビリテーション学科言語聴覚学専攻の卒業生で言語聴覚士の中村友紀さん（熊本リハビリテーション病院）＝写真＝が8月5日（金）と12日（金）の15時から、ラジオ番組（FMKルミアール5番館ビューティーラウンジ）に出演します。



※次号は8月26日（金）配信予定です。